

## 第655回番組審議会報告

2021年2月2日開催

### ■出席委員

佐藤卓己委員長 佐藤友美子副委員長 今井美樹委員 島田智委員  
太平信恵委員 津村記久子委員 東野博昭委員 細見良行委員

### ■毎日放送出席者

三村社長、梅本専務、虫明常務、浜田取締役 高山取締役、磯澤取締役、  
藪内取締役、池崎報道部長、帯刀プロデューサー、宗川制作部長、中村プロデュー  
サー、津田コンプライアンス室長、中西番組審議会事務局長

### ◆議事の概要

MBS と震災 1・17

テレビ番組 「阪神・淡路大震災 26 年～伝えたい思い～」

(2021 年 1 月 17 日 (日) 5 : 40～6 : 10 放送)

テレビ番組 「情熱大陸」(2021 年 1 月 17 日 (日) 23:25～23:55 放送)  
について意見交換した。

### 【番組概要】

『阪神・淡路大震災 26 年～伝えたい思い～』

阪神淡路大震災が発生して 26 年。4 半世紀余りが経ち、記憶の風化も進む。だからこそ、あの時のこと、そして、あの時にどう向き合い、どう苦難を乗り越えてきたのか、未来に向けて語り継いでいく必要性が高まっている。東日本大震災が 10 年という節目を迎えるが、神戸の記憶も決して薄れさせてはならない。

何年経とうとも、地震発生時刻の午前 5 時 46 分の追悼の様子や追悼に訪れた人たちの言葉、思いは私たちの胸を打ち、忘れられない記憶を思い起こさせる。また、震災を知らない世代にも、思いを馳せるきっかけを与えてくれる。

今回はコロナ禍という去年の今頃には考えられなかった事態の中、1.17 を迎える。番組はスタジオを開かず、全編神戸から生中継。前半は、コロナに直面する中での 1.17 の追悼の様子を、東遊園地やビーナスブリッジからの中継で伝えるほか、例年とは違う追悼会場づくりで、どこを工夫し、どんなふうにしたのかを VTR で紹介する。後半は、合唱曲「しあわせ運べるように」に焦点を合わ

す。この合唱曲は 95 年、震災からの復興を願い、神戸市の小学校の音楽教師が作詞・作曲。毎年、1.17 の神戸にとどまらず、全国の被災地などでも広く歌い継がれている。この「しあわせ運べるように」を小学生のころに合唱し、今は小学校の教師になっている男性に、当時の思いや、今、それをどう子どもたちに伝えようとしているのかなど取材。当日は追悼現場にゲストとしてお迎えする。

### 『情熱大陸』

言わずと知れたパン激戦区、神戸。そこで 89 年間、愛され続けるパンがある。フロイン堂の食パンだ。しっかりとした外側とは裏腹に中はふわっと軽く、また、鼻に抜ける小麦の香りが実に香ばしい。そんな絶品を作っているのは、去年米寿を迎えた竹内善之。フロイン堂の 2 代目店主だ。今も店の厨房に立ち続ける 88 歳は、先代からの製法と味を守り続けている。生地はミキサーを用いてこねるのが一般的だが、竹内は全て手でこねる。手から伝わる、粘り気や硬さ、温度などの繊細な情報を基に、こねる時間や水分量を調整して最高の生地を作り上げていく。そしてもうひとつ。竹内の食パンで欠かせないもの、それがパンを焼く窯だ。戦争でも阪神淡路大震災でも壊れることなく、今なお現役の、通称「奇跡の窯」。竹内の相棒だ。竹内の手によって育てられた生地を、最高の食パンに焼き上げてくれる。そんな「古き良き」を守り続ける竹内だが、休日はパソコンの前に座り同世代の友人たちとリモート会話を楽しむ意外な横顔も一。

「パン作りは私にとってラジオ体操みたいなもの。毎日かかさずやり続けるんです」そう笑う 88 歳現役パン職人を追いかけた。

コロナ禍だが、幾多の困難を乗り越えてきた竹内の姿は、視聴者に勇気を与えるはずだ。

### 【各委員の主な意見は次の通り】

#### 『阪神・淡路大震災 26 年～伝えたい思い～』

\*震災を知らない世代と震災を知っている世代の両方の声があるのがよかった。

\*やっぱり当事者の話にまさるものはない。妊娠中の婚約者を亡くされた男性の話はちょっと涙を抑えられない証言だった。

- \*現場の感じが消えないまま見られた。そこにいるような気にもなり、同じように手を合わせてというようなライブ感が残っていたのがとても印象に残っている。
- \*頑張った結果、今の神戸がこんなになっているというちょっと明るいニュースも盛り込んでいただければ。
- \*せっかく1・17に思いを馳せているのにコマーシャルが間に入ると現実に戻ってしまうというか、ちょっと残念な気がした。
- \*メディアがこの行事を支えている面もあり、果たして30年後に同じことが繰り返せるのかということをも今の段階から考えていかないといけない。

#### 『情熱大陸』

- \*震災を裏テーマにしなごうすごくいい具合に「奇跡の窯」と何十年もパンを焼いている人がちゃんと描けていた。
- \*職人さんのパン作りの仕事ぶりに加えて、50年以上続けてきた足跡と窯という相棒の仕事道具が80年以上という歴史みたいなものをちゃんとクロスオーバーさせて、いぶし銀のようなストーリーになっていた。
- \*テレビに映る職人には一般的な高齢者のイメージを持ってしまいが、スカイプをやっている88歳の職人というのが、職人とか高齢者のイメージを崩していくという点で非常によかった。
- \*生地を押した時のネズミ鳴きという音とかパンの産声とかが撮れているのが一番感心した。震災のことを取り上げているが楽しい回だった。
- \*いつもよりディレクタートークが多かったように思う。途中からちよつとうるさくなってきたなと感じた。
- \*今までの『情熱大陸』と比べると今回は情熱が足りないなという気がした。

#### 【番組制作者側の説明、質問への回答】

- \*30年を見据えて報道として取り組んでいかないと改めて感じた。

\*主人公の言葉はメッセージ性があるので心配はあまりなかったが、つなぐ  
絵はほとんどがパン工房の中なので撮り方に苦心をした。

\*今回は1・17に寄せようとする作業がもしかしたら成功できなかったのか  
などご意見を聞いて思った。

以 上